

兵庫県代協

新年賀詞交歓会を開催

体制整備を再構築するチャンス

お客様の生命、財産を守るパートナーとして

兵庫県代協(先小山剛会長)は、1月23日14時45分から、神戸市中央区の神戸ハーバーランドホテルクラウンパレス神戸で新年賀詞交歓会を開催した。



先小山会長

冒頭、先小山会長は「今年1月17日に阪神淡路大震災から30年を迎えた。6432名の尊い御霊が犠牲になった。日常の当たり前が一瞬にして非日常の世界に突き落とされてしまう。ここに亡くされた方の中には、30年前に辛い経験をされた方がおられると、思われたい。また一方で、自代理店の認定申請以上にお客様から要望もあり、我われ代理店がこうした情報を提供する立場に変わらなければならない。被災時には、損害保険を扱う代理店として、お客様の生命、財産を守るベストパートナーとしての使命を、果たさなければならない。今、損害保険業界はひどい状況にある。残念ながら昨年も同様の言葉を述べさせていた。保険会社が真にこの事態を受け止め、我われ代理店が納得できる具体的な施策が展開されることに期待する。最近のニュースによると、とくに大規模な損害代理店に対する保険業法の規制等

はますます重要になってきている。そのために、代理店自身にはBCP対策や事業継続力強化が求められている。当協では、事業継続力強化計画の認定を中小企業庁に代理店が申請する際のサポートをしている。ぜひチャレンジしていただきたい。また一方で、自代理店の認定申請以上にお客様から要望もあり、我われ代理店がこうした情報を提供する立場に変わらなければならない。被災時には、損害保険を扱う代理店として、お客様の生命、財産を守るベストパートナーとしての使命を、果たさなければならない。今、損害保険業界はひどい状況にある。残念ながら昨年も同様の言葉を述べさせていた。保険会社が真にこの事態を受け止め、我われ代理店が納得できる具体的な施策が展開されることに期待する。最近のニュースによると、とくに大規模な損害代理店に対する保険業法の規制等



金澤専務理事



セミナー会場のような様子

第2部の賀詞交歓会では、来賓の財務省近畿財務局神戸財務事務所の本健治所長、日本代協の小橋信彦理事(近畿阪神担当)が挨拶。兵庫県代協の塩谷広志相談役の乾杯の音頭で始まった賀詞交歓会は終始和やかなうちに行われた。